

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成28年9月1日(2016.9.1)

【公開番号】特開2014-32735(P2014-32735A)

【公開日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-009

【出願番号】特願2013-153138(P2013-153138)

【国際特許分類】

G 1 1 B	7/24038	(2013.01)
G 0 3 H	1/02	(2006.01)
G 0 3 H	1/26	(2006.01)
G 0 2 B	5/32	(2006.01)
G 1 1 B	7/244	(2006.01)
G 1 1 B	7/24	(2013.01)
G 1 1 B	7/24097	(2013.01)
G 1 1 B	7/09	(2006.01)
G 1 1 B	7/0065	(2006.01)

【F I】

G 1 1 B	7/24	5 2 2 P
G 0 3 H	1/02	
G 0 3 H	1/26	
G 0 2 B	5/32	
G 1 1 B	7/24	5 1 6
G 1 1 B	7/24	5 3 5 C
G 1 1 B	7/24	5 3 8 Q
G 1 1 B	7/24	5 7 1 B
G 1 1 B	7/09	A
G 1 1 B	7/0065	

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の機能膜層(12)と交互配置された複数の光に不活性な層(14)を含むマイクロホログラム層(10)であって、前記複数の機能膜層(12)が、第1の光線によって照射されるとその屈折率に変化を受け、第2の光線によって照射されるとその屈折率に変化を受けない素材を含む、マイクロホログラム層(10)と、

前記マイクロホログラム層(10)と交互配置された複数のスペーサ膜(20)と、  
を含み、

第1のマイクロホログラム層(10)および第2のマイクロホログラム層(10)が読み出し中に2つの異なる波長に反応する、成分。

【請求項2】

前記マイクロホログラム層(10)の間隔がPとして定義され、

P = / 2 n であり、

さらに、 $n$  が読み出し光線の光の波長であり、 $n$  がマイクロホログラム層（10）内の前記複数の光に不活性な層（14）および機能膜層（12）の有効屈折率である、請求項1記載の成分。

【請求項3】

記録状態の間に高い強度で照射されると、前記マイクロホログラム層（10）の反射率が変更される、請求項1または2に記載の成分。

【請求項4】

前記複数の光に不活性な層（14）および前記複数のスペーサ層（20）が同じ屈折率を有する、請求項1乃至3のいずれかに記載の成分。

【請求項5】

第1の機能膜層（12）内の第1の素材が第1の素材の合成物、濃度、および閾値反応を有し、第2の機能膜層（12）が少なくとも1つの異なる第2の素材の合成物、濃度、および閾値反応を有する第2の素材をもつ、請求項1乃至4のいずれかに記載の成分。

【請求項6】

それぞれの連続するマイクロホログラム層（10）がデータ読み取り装置および読み／書き装置のうちの1つから離れる方向により高い反射率を有する、請求項2記載の成分（30）。

【請求項7】

前記複数のスペーサ膜（20）のうちの少なくとも1つが補助反射スタック（22）をさらに含み、前記補助反射スタック（22）が記録および読み出しの光の波長に不活性な素材からなる複数の層を含み、それによって反射基準層を画定する、請求項1乃至6のいずれかに記載の成分（30）。

【請求項8】

前記複数のマイクロホログラム層（10）の記録波長が、前記複数のマイクロホログラム層（10）の読み出し波長と異なる、請求項1乃至7のいずれかに記載の成分（30）。

【請求項9】

前記第1の光線が高い強度をもつ光を含み、前記第2の光線が低い強度をもつ光を含む、請求項1乃至8のいずれかに記載の成分。

【請求項10】

その中に成形用非フォトポリマープラスチック基板およびサーボ層（44）を含む基板層（42）と、

前記基板層（42）に隣接する請求項1乃至9のいずれかに記載の成分（30）とを含む、データ記憶デバイス（100）。